



玉名ロータリークラブ週報

2018
2
2019



インスピレーションになるう

R I 会長	■	バリー・ラシン
地区ガバナー	■	高山 泰四郎
会長	■	本田 正美
幹事	■	田中 雄三郎
公共イメージ向上・IT委員長	■	西嶋 興生

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 31 年 2 月 21 日 No.2423

玉名 R C メールアドレス jimu@tamanar.club

ホームページ <http://tamanar.club>

【会長の時間】 本田会長

ここ最近の気温の変化が激しいようです、体調管理には十分お気をつけください。また花粉症が出始めています。人から聞いたのですが、熊本市内にいい病院があるそうです。レーザーを使った治療方法らしくて、効果があるということです。花粉症かかっている方は何かにすがりたいところでしょう。

さて今日は2月最後のお昼の例会です。来週はイブニング例会になります。ボウリング大会を予定しています。会員親睦を皆さん、是非はかっていたきたいと思えます。



今朝、今月のガバナー月刊を見ていたら、2月は平和と紛争を解決する月間だそうです。記事には現在おこっている各地の紛争、その考察等を書かれてあります。簡単に月刊の概容に触れてみますと…

- ◎紛争の現状
- ・毎年2万人が地雷によって手足や命を奪われています。
 - ・今日、紛争や迫害によって5,100万人が難民生活を強いられています。
 - ・紛争で命を落とした犠牲者の30%が一般市民で、少なくとも半数が子供です。
 - ・世界で18歳未満の子供、30万人が「少年兵」として紛争に巻き込まれています。

その紛争の解決と行動として、

- ・理解と平和を推進するため、海外のロータリークラブと友好関係を築き、奉仕活動で協力する。グローバル補助金の活用を。

- ・紛争の要因（貧困、不平等、民族間の緊張、教育の向上等）の解消に取り組むプロジェクトを計画する。
- ・ロータリー平和フェローシップの「候補者」を探す。
- ・紛争で親を無くしたり負傷したり、心の傷を負った子供達を支援する。

現在、世界で紛争が絶えることはありません。私共もたとえささやかな支援であっても、身近な出来るところから世界平和と紛争解決に向けて、プロジェクトを発案し実践しなければいけないと思います。

同じくガバナー月信に新入会員の紹介ということで、我が玉名クラブからも入会された4名がカラー写真付きで掲載されてました。なかなかいい男っぷりです！2720地区全体では、10名の新会員が載っていました。新入会員の方々、ロータリー活動、頑張ってください。

馬山 RC さんとの姉妹締結35周年記念の件ですが、3月28日木曜日に6名の方々が一泊二日に来玉されます。ロータリーの大きな柱となる国際親善・親睦活動を目的とする大事な事業であります。会員の皆さん、とくに入会してまだ日の浅い若い会員は是非とも出席のほう、よろしく願い致します。

【幹事報告】 堀本副幹事

○熊本西 RC より例会変更・取り止めのお知らせが来ています。

日時：3月19日（火）定款第8条第1節に基づき休会

日時：3月26日（火）⇒ 同日 18：30～

場所：城彩苑「ぎんなん」



【委員会報告】 大石会員

先週、次年度の地区研修セミナーへ大分中津のほうへ行ってまいりました。その時にこの研修内容を後日、例会にてお話になって共有していただきたいとのことですので、この時間をお借りします。次年度 RI のマークなんですが、なにか人が飛んでるようなデザインに見えます。いずれ皆さんにもお目にかかれると思います。



セミナーでは、ガバナーエレクトの瀧さんの次年度の方針のお話がありました。次年度のスローガンも決まっています。「さあロータリーの大海へ漕ぎ出そう！～わたくし達のクラブから将来の地区ガバナーを～」です。

会員がクラブという港に船を停泊してただけではなく、ロータリーの大海へと漕ぎ出す勇気が大切なのではないでしょうか、大海へ出航すれば新しい世界が待っています、波にもまれて大きく育った若きリーダー達がクラブ会長となり、ひいては地区ガバナーを目指すという土壌ができたとき、我が2720地区は素晴らしい発展を遂げる、という意味です。

会員は既存概念にとらわれず、若い会員に組織の将来を託す度量をもつこと、また若い会員は先輩に遠慮せずロータリー活動をリードする気概をもつこと、つまり年配の会員は若い会員のおこないを、大きなふところで見守ってもらいたいということです。大海へ漕ぎ出す、は各事業へ出席してもらう、地区・他クラブへ出向してもらう、これらのことも含んでいるのだなと思いました。

【出席・スマイル報告】 大石委員長

本田会長・堀本副幹事・・・新会員3名の「私の履歴書」
楽しみです、よろしくおします。

田中幹事・・・本日所用で欠席いたします。

申し訳ありません。

山田司さん・吉岡さん・吉田彰さん・松崎さん・井上さん
・・・私の履歴書楽しみです。

小篠さん・田原さん・田畑さん・中嶋さん・・・平田会員
児玉会員・浅地会員の卓話ありがとうございます

広瀬さん・・・結婚お祝いありがとうございました。

鶴田さん・・・本日は業務の都合で早退致します。

古賀さん・・・本日欠席します、すいません。



前回までの累計 ￥608, 000

今 回 ￥17, 000

合 計 ￥625, 000

本日の出席	会員数	53 (50) 名	欠席者	深見 福田 浜田 古賀 村上 宮本 村田 前田 野田 西嶋 小山 志賀 杉谷 坂梨 品川 田中 上村 上田継 山田邦 山田勝 吉永 山口 山村 吉田光
	出席数	26 名		
	出席率	52.00%		
前回の出席	前回出席数	30 名	前回の メイクアップ	中嶋 坂梨
	修正出席数	32 名		
	修正出席率	64.00%		
出席規定適用免除者		6 名		

【今後のプログラム予定】

2月28日(木) イブニングボウリング大会 18:30～ 会費 1000 円

【本日のプログラム】 私の履歴書

◎浅地会員

トップバッターです、浅地です、よろしくお願い致します。1972年7月31日 岱明町に生まれました。睦合小、岱明中、玉名高校、大阪芸術大学の出身です。1995年に就農し今の牧場の仕事に着きました。就農した当時、ぬる～い大学生生活を送って来た私には酪農の現場は想像以上に過酷で、当時は従業員さんも機械もなく両親と3人で、朝から晩まで晩から朝までとにかくがむしゃらに頑張っていました。



私が就農した頃、25年前には熊本県に1300戸以上の牧場が有りましたが、今では県全体で450戸、25年前の3分の1になってしまいました。玉名管内の話をしみますと、50年前玉名だけで最大300戸の酪農家が有りました。しかし今では15戸にまでに減ってしまいました。昔は生活の中でどこでもよく目にした牛や豚、ニワトリなど畜産という業種が、段々と減り、一般の皆さんの前から姿を消していつているというのが今の畜産の現状だと思います。

私の働く幸鷹牧場の説明をしみますと、今75歳になる父 繁国が17歳の頃、今から58年前に牛一頭か

はじめ、現在では成牛が600頭、仔牛育成牛が300頭、総頭数900頭の牛がいて、その内500頭の牛を毎日朝4時、昼12時、夜8時、1日に3回搾乳しています。盆も正月なく、毎日休みなく25名のスタッフでほぼ24時間体制で牛の世話をしています。

うちで飼っているのはホルスタイン種というドイツのホルシュタイン地方原産の乳牛で、産乳能力に特化した牛です。一頭の牛が1日に平均してだいたい32kg(L)、全体で16tほどの生乳を毎日、「らくのうマザーズ」に出荷しています。食べる餌は1日で25t牛たちが食べています。牧草や配合飼料の殆どが外国からの輸入で日々の為替や穀物相場に左右されます。

そして出て来る「糞」が4～50t。その堆肥の処理にも毎日追われます。仔牛が生まれて乳を出すまでに約3年。牛も人間と同じように分娩しないと乳が出ませんので、妊娠させて毎年お産させてお乳を搾乳します。

「日々、来年再来年の為の努力を“今”する」というのが酪農の仕事だと思います。生き物は自分の命を繋ぐために他の誰かの命を頂いて生きています。その中で唯一と言ってもいい命を奪わない「食べ物」があります。それが「お乳」「牛乳」です。生まれてくる命、死んでゆく命、「牛乳」という、生まれてくる「命」を育む為の食品を牛からわけて頂き、酪農という生業にしているのが私の「生業」酪農という仕事です。

◎平田会員



◎児玉会員

児玉陽一と申します、宜しくお願いします。

私は1977年8月6日に宮崎県西都市で農家を営む両親の深い愛情をうけながら3人兄弟の長男として生を受け、今年で41歳を迎えております。

小さいころから父親に教えられた野球が大好きで小学2年生から高校3年生まで毎日毎日野球ばかりをして



いた記憶があります。勉強は苦手でしたが野球だけには自信があり、お蔭で高校卒業前には山口県の徳山大学から推薦のお話しもいただきました。ただ、当時なぜかその推薦の話を断ってデザイナーになろうと思った僕は結局親の反対を振り切って、福岡市博多のデザイナー専門学校に入るわけですが、思えばそこから今の僕が熊本に来るきっかけが生まれたのを思い出します。

博多の街でお金もないまま友達とパチンコ、麻雀、飲み会その他、本当に親から激怒されるようなだらしない生活を送っていた当時、付き合っていた彼女が今の妻でした。3年間博多で一緒に同棲生活を送っていましたが、結局親から宮崎に帰れと言われ、親戚の建設会社で就職をしました。それと同時に今の妻が宮崎についてきまして、私の実家に居候を始めたわけです。

妻の実家はここ熊本県の玉名郡玉東町で会社を営んでいたことは私の両親も知っておりましたので失礼になる前にすぐ挨拶に行っておきなさいと言われ、恐る恐る挨拶に行ったわけですが、なんと妻の父親が大の野球好きで、僕の野球の話などをしているうちに意気投合させていただき、トントン拍子の22歳で結婚をする運びとなりました。

結婚後も宮崎の建設会社で働きながら、設計や現場監督を務め民間の住宅や公共工事の建築物を含め7件を私がデザインした設計で建築施工をさせていただきました。このまま建築士を目指していくのだと思いかけた頃、丁度働き始めて3年経った12月に妻の祖母が亡くなりました。熊本へ葬儀のために来ていた僕へ、義父が会社で働かないかといってきたのです。妻は3姉妹で女ばかりでしたので男の後継ぎがほしいと。私の両親もかなり反対はしましたが、半年後この熊本に来て働き始めることを決意しました。

その流れで、現在玉名郡玉東町で砕石業と産業廃棄物処理業を営んでおります。砕石業とは山をダイナマイトで崩し専用のプラントで石を小さく砕いて、建設資材や生コンクリートの資材を製造する業種であります。とても危険が伴う事業で、社員を含め毎日厳しく安全管理を徹底していかなければならない仕事でもあります。ただ、当社はJR九州指定業者でもありますので、線路に敷かれた鉄道バラストと呼ばれる石も熊本から福岡まで幅広くご利用いただいているような当社商品を見ると本当に嬉しくも感じますしやりがいもある仕事でもあります。



現在は悔しくも2014年、義父と義母が立て続けに他界し、会社の代表取締役を務めさせていただいておりますが、太陽光発電事業やミネラルウォーター製造業も始めましたし、先代の意思を引継ぎこれからも熊本の資源を大切に、地域に優しい企業へ向け邁進してまいります。

今後ともこのロータリークラブでのお付き合いを宜しくお願ひし、私の履歴書発表とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。